

暮らしを守る仕事

専門技術サービス業

建設コンサルタント

この仕事と関わる
キーワード

- まちづくり
- 防災・減災
- インフラ
- 調査・設計
- 課題解決

こんな人に
向いています

- ものづくりが好き
- 人の役に立つことが好き
- 考えることが好き
- 向上心がある
- コツコツ頑張ることができる

当たり前の暮らしを守る まちづくりの専門家

何気なく使っている道路や橋、トンネル、鉄道、公園など、社会や生活を支えるものやサービスをインフラといいます。インフラは人々の暮らしにとってなくてはならないものです。このインフラを調査、計画、設計、メンテナンスして、国や自治体と一緒に安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを行うのが建設コンサルタントの役割です。まちに暮らす人々にとって実はとても身近な存在で、社会に必要とされる仕事として、当たり前の暮らしを守るサポートをしています。



入社4年目 大森さん

必要な資格と身につくスキル

- [資格] ●技術士 ●RCCM
[スキル] ●プレゼン力 ●マネジメント力
●空間認識力



この仕事に就いたきっかけ

子どもの頃から工作が好きで、ものづくりに興味がありました。両親のすすめもあって土木系の専門的な知識が学べる学校に進学し、一度県外で建設コンサルタントとして就職後、地元のみちづくりに関わりたいと今の会社を選びました。



この仕事のおもしろいところ

みんなが当たり前に使っている道路や橋など、自分が設計したものが未来まで残り続けるのが一番の魅力です。発注者となる国や自治体の人たちから相談を受けて、計画から維持管理まで、プロデューサーとしてまちづくりに関わることができます。

こんな仕事をしています！

Work 1 図面作成



パソコンで専用ソフトを使って橋の設計図を作ります。なぜこういう風に設計したのかがわかるように報告書と一緒に作ります。

Work 2 打ち合わせ



お客様に図面を見てもらいながら工法や資材、費用などについてわかりやすく説明をします。最近はオンラインで打ち合わせすることもあります。

Work 3 工程会議



一緒に働くチームのメンバーと、それぞれが担当している仕事の状況を報告するための会議をします。困っている人がいれば助け合います。

Work 4 橋の点検・調査



橋が壊れたり、異常がないか目で見たり触ったりして確認をします。人が近づけない場所などはドローンを使って調査することもあります。

会社がしていること

まちで暮らす人々のために、国や自治体とともに安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。自然環境や歴史を調べ、地域のことを理解したうえで、必要な道路や橋、災害のときに人の命を守る施設を計画・設計し、当たり前の暮らしを守っています。

防災・減災



津波避難タワーや、土砂崩れから地域を守る砂防ダムなど、地震や大雨などの自然災害のときに、地域の人々が安全に逃げられるように計画します。人の命を守るインフラの整備を進めています。

インフラの計画・設計



地域の人々がより快適に住みやすいまちとなるように、人や地域をつなぐインフラ（道路や橋）を考えます。ベストな提案ができるように土地の状態や自然環境を調査して、計画・設計をします。

インフラの維持管理



古くなった橋や道路の健康状態を確認します。悪いところがあれば、直し方や直す順番を考えます。一度作った構造物が長く安全に使用できるように管理やメンテナンスをしています。

環境調査・環境学習



インフラを計画するときは、周りの自然環境も調査します。どんな生き物が住んでいるか、生態系を守るためにどうすればいいかを考えて、快適に暮らせるまちと豊かな自然の共存を目指します。

こんなことも
しています



働く楽しさを伝える 体験学習

地域の子どもたちへ仕事内容を伝える活動を積極的に行っています。「キャリア教育パネルディスカッション」に参加した板野中学校では、将来この仕事に就きたいと進学先を決めた生徒もいるそうです。



中学生へのキャリア教育。



外国にルーツをもつ子どもたちの職場体験学習。

株式会社フジタ建設コンサルタント

職場体験
OK
【小中学生】

会社見学
OK

いたの 板野郡北島町鯛浜字原87-1

Tel.088-698-2155

創業1966年4月 従業員107名

●事業所 阿南営業所／徳島営業所



詳しくは
コチラ